

女医ドル やすらぎの処方箋

オトコの元気術！



こぐれ・えつこ 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医。日本大学医学部卒業。同大学第三内科、秋田赤十字病院胃腸センター、昭和大学北部病院消化器センターを経て、医療法人こぐれ・木暮クリニック理事長に就任。専門は大腸内視鏡・早期大腸がんの診断と治療。

今年も残りわずかになつてきました。年末年始で忘年会や新年会、なにかとイベントが多い季節になりましたが、皆さんの中には食事会や宴会が連日のように続いている方も多いのです。ただでさえ年末で何かと忙しくなるこの時期、心身ともに疲労も重なりやすい「暴飲暴食には、「早食い」や「食べ過ぎ・飲み過

年末の宴会は「よく喰んで」

「年末の宴会は「よく喰んで」と、消化管への負担が増し

て胃腸障害などを引き起こしやすくなります。それで

は、なぜ暴飲暴食が胃腸障害を引き起こすことになるのでしょうか。

「アミラーゼ」という消化

酵素が存在し胃腸の働きを

助けてくれますが、食物を

飲んだりすることで、消化

のための運動機能が低下

する。そのため、胃酸が大量に分泌され

ます。その結果、胃液（含アミラーゼ）と混ざ

り、上腹部痛・吐き気・胸

焼けなどの症状が生じやす

くなります。代表的な疾患

として、急性胃炎が挙げら

れます。ほかには、マロリ

ー・上腹部痛・吐き気・胸

焼けなどの症状が生じやす

になります。そうなると、胃もた

ります。そのため、胃もた

ります。そのため、胃もた